

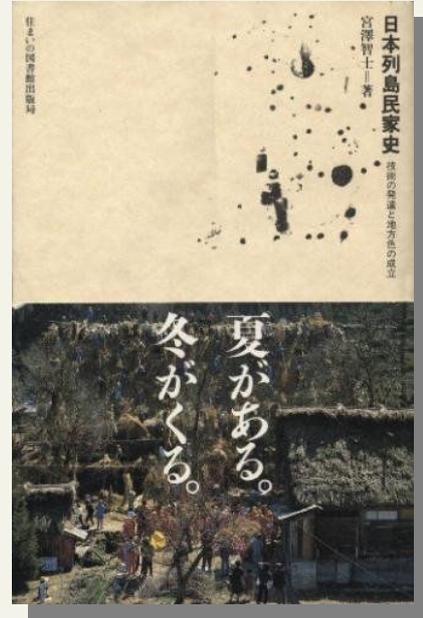
第16回 「民家」とは？…

# 宮澤智士が「日本列島民家史」を語る

民家再生、民家バンク。人々の日々の営みを包む「民家」は、今では、価値があるものとの認識は定着してきている。ただ「民家」の捉え方をさかのぼってみると、この認識は決してそう古いものではない。過去には、今和次郎『日本の民家』(大正 11 年)、和辻哲郎『風土』(昭和 6 年)の優れた考察が、また全国各地に郷土史的考察の優れたものはある。

しかし、学究的に位置づけられたのは、高度成長期に全国の民家が壊されていくに対して民家緊急調査の始まった昭和 50 年代以降ではなかったか。その流れを語るうえで、宮澤智士先生は欠かせない人物である。

今回は、宮澤先生が「日本列島民家史」を語ります。前半は、「民家」「街並保存」がここまで社会的に認知されるまでを振り返って概説していただき、後半は、次世代の若者との質疑応答で進めたいと思います。



古代・中世から近世への転換は、いまもわずかに残る伝統的な民家の姿を生んだ。近世民家の成立は、建築技術的には本格的な住まいの登場であり、風土や生活環境に結びついたさまざまな地方の特色を生み出した。沖縄から北海道に至る日本列島各地の転換期の状況に焦点をあて、日本民家史の謎にせまる。[1989/07]

【日 時】平成 23 年 10 月 15 日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】東京芸術大学美術学部 中央棟 2 階第 3 講義室 (台東区上野公園 12-8)

【講 師】宮澤 智士 氏 長岡造形大学名誉教授

【定 員】100 名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000 円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(NPO 日本民家再生協会内 担当: 金井)

TEL: 03-5216-3541 FAX: 03-5216-3542

Eメール: koremoku@e-mail.jp

【締 切】10 月 13 日 (木)

参加者 1 名ごとに、氏名、所属、電話、ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会  
職人がつくる木の家ネット  
NPO 伝統木構造の会  
有限責任中間法人 日本曳家協会  
NPO 日本民家再生協会  
NPO 緑の列島ネットワーク



【交通】JR 上野駅(公園口)徒歩 10 分、  
東京メトロ千代田線根津駅徒歩 10 分

■講師プロフィール

宮澤 智士氏 (長岡造形大学名誉教授)



1937年長野県生れ。東京大学大学院数物系研究課建築学専攻博士課程退学。工学博士一級建築士。1979年「イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告」マルコ・ポーロ賞受賞。1993年『普請研究』刊行を通しての「普請帳研究会」十年間の活動で日本建築学会賞受賞。奈良国立文化財研究所遺構調査室長、文化庁建造物課長を経て長岡造形大学教授、建築修復学会代表。木造建築研究フォーラム副会長。日本建築史・日本列島民家史の研究、町づくり村づくりの仕掛け・文化財建造物の保存活用とその実践などが主なテーマ。

主な著書『日本の民家』小学館、『町並み保存のネットワーク』第一法規、『白川郷の合掌造り集落』共著、白川村・同教育委員会、『日本列島民家史』住まいの図書館出版局、『芝居小屋内子座 80年の年輪』共著、内子町、『絵巻物の建築を読む』東京大学出版会

.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第16回 「民家」とは?・・・

宮澤智士が「日本列島民家史」を語る に参加します。

①	氏名:		会社:		所属する 団体等:	
	連絡先 TEL:		連絡先 FAX:		連絡先 Eメール:	
②	氏名:		会社:		所属する 団体等:	
	連絡先 TEL:		連絡先 FAX:		連絡先 Eメール:	
③	氏名:		会社:		所属する 団体等:	
	連絡先 TEL:		連絡先 FAX:		連絡先 Eメール:	

**FAX 03-5216-3542**